

令和4年度獣医学術年次大会にて研究成果を発表

11月11日から13日にかけて、獣医学術年次大会がアジア獣医師会連合大会と合同で実施され、世界各国から多くの獣医師等が福岡市に集合し、最新の知見について発表や意見交換を行いました。

当センターからは、獣医学術近畿地区学会にて優秀賞に選ばれた「畜舎周囲消毒のための液状剤自動散布装置の開発」について発表を行い、会場からは風の影響や価格について等、多くの質問と共に「発泡剤を用いることで効力が長続きするのは」といったアドバイスもいただきました。

鳥インフルエンザ等の伝染病対策のための消石灰散布は重要である一方で農家の大きな負担となっており、消毒剤の散布を自動化することで労力を軽減できることから、今回いただいた意見を参考に実用化試験を実施し、いち早く農家のみなさまへ成果を還元できるよう今後も精力的に研究を進めてまいります。



発表の様子

畜産センター